



XMLアダプタのご紹介

目次

■ XMLアダプタ

- XMLアダプタとは
- 連携イメージ
- 利用イメージ
- アダプタ機能一覧
 - ・ XMLファイル読み取り処理
 - ・ XMLファイル書き込み処理

XMLアダプタ

XMLアダプタとは

■ XMLを用いたシステム間データ連携

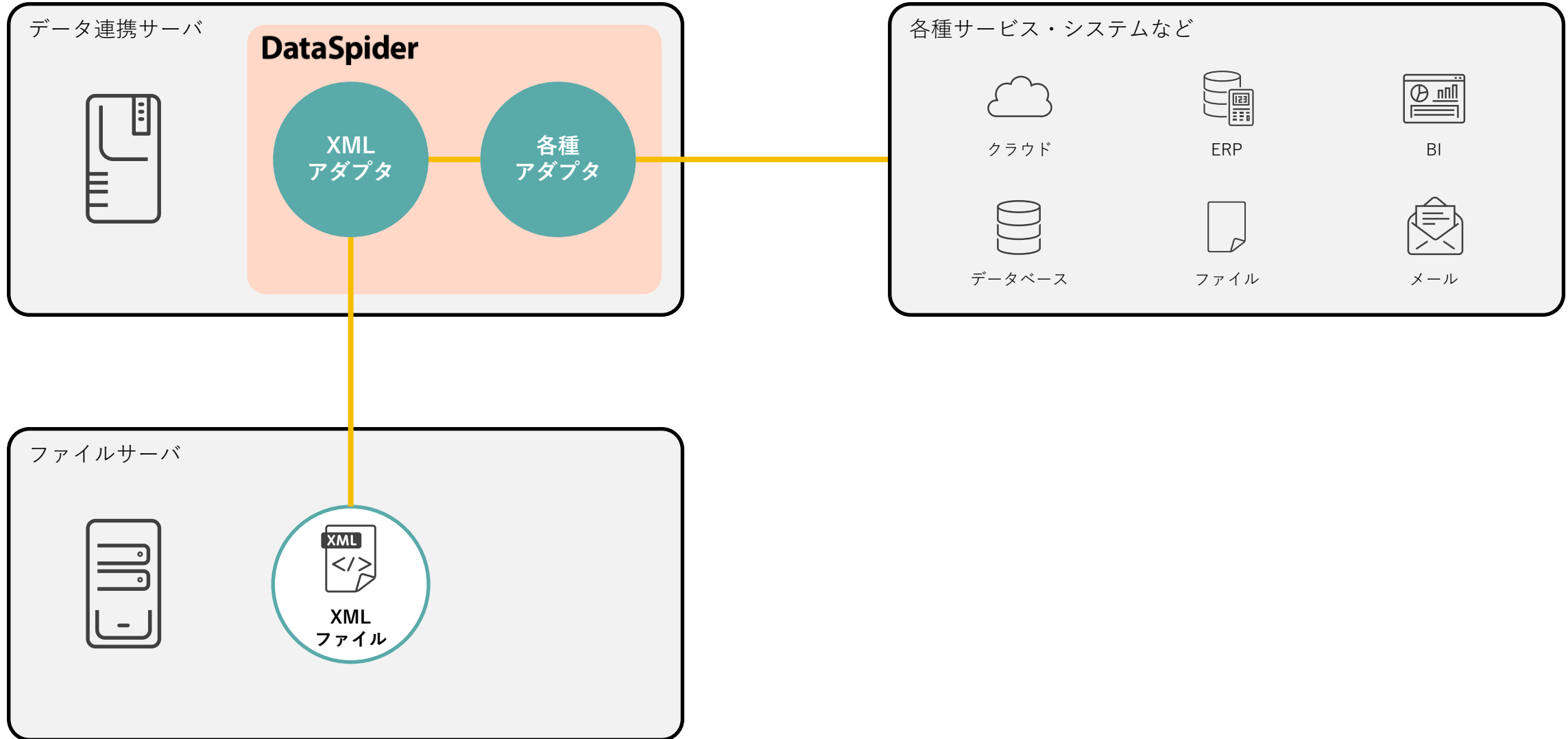
XMLアダプタを利用することにより、XMLファイルを利用したシステム間連携を効率化します。

● ポイント

DataSpiderなら、XMLアダプタを利用してXMLファイルの読み取り・書き込みが可能です。

- 固定のスキーマを持たず、データ変換時に繰り返しのノードを自由に指定することができるため、処理ごとに異なる出力構造を柔軟に設定可能。
- GUI上の操作のみでXMLで記述されている複雑なデータ構造をCSVや各種データベースなどの表形式のデータと連携可能。

連携イメージ

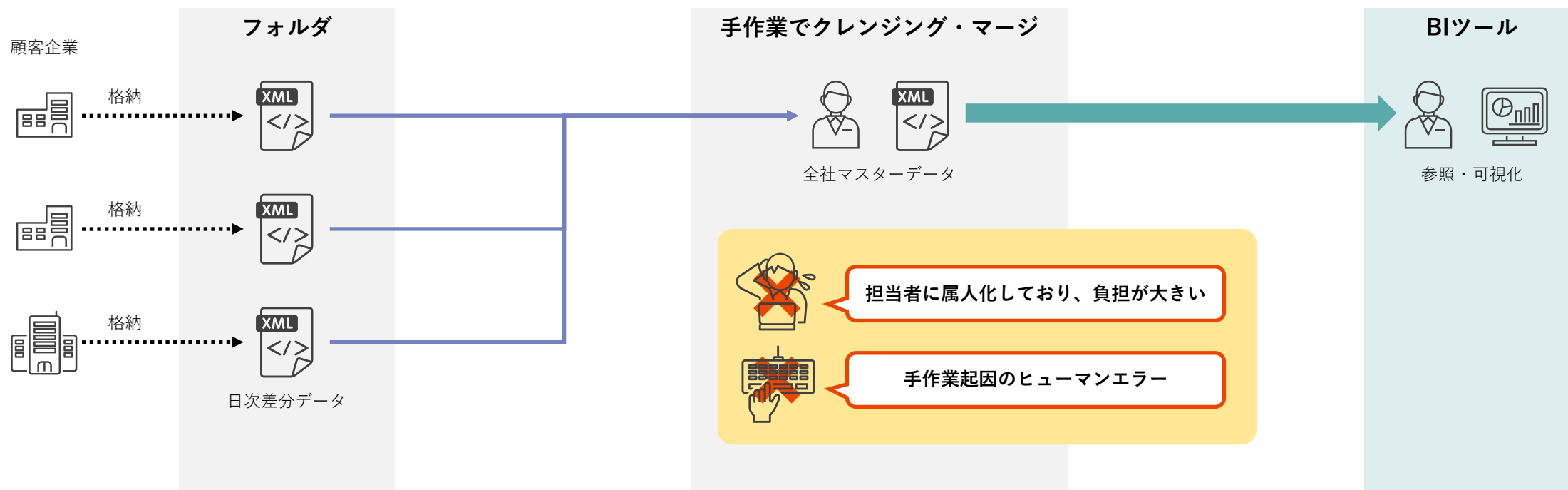


利用イメージ（課題）



顧客から送信されるデータを集計しているが、顧客毎にデータ定義が異なるため、集計処理に多大な工数が掛かっている。

顧客から本社に送られて来るデータは、顧客独自のデータ定義に基づいています。それらを手作業で集計し、自社システムで利用できる形式にしています。

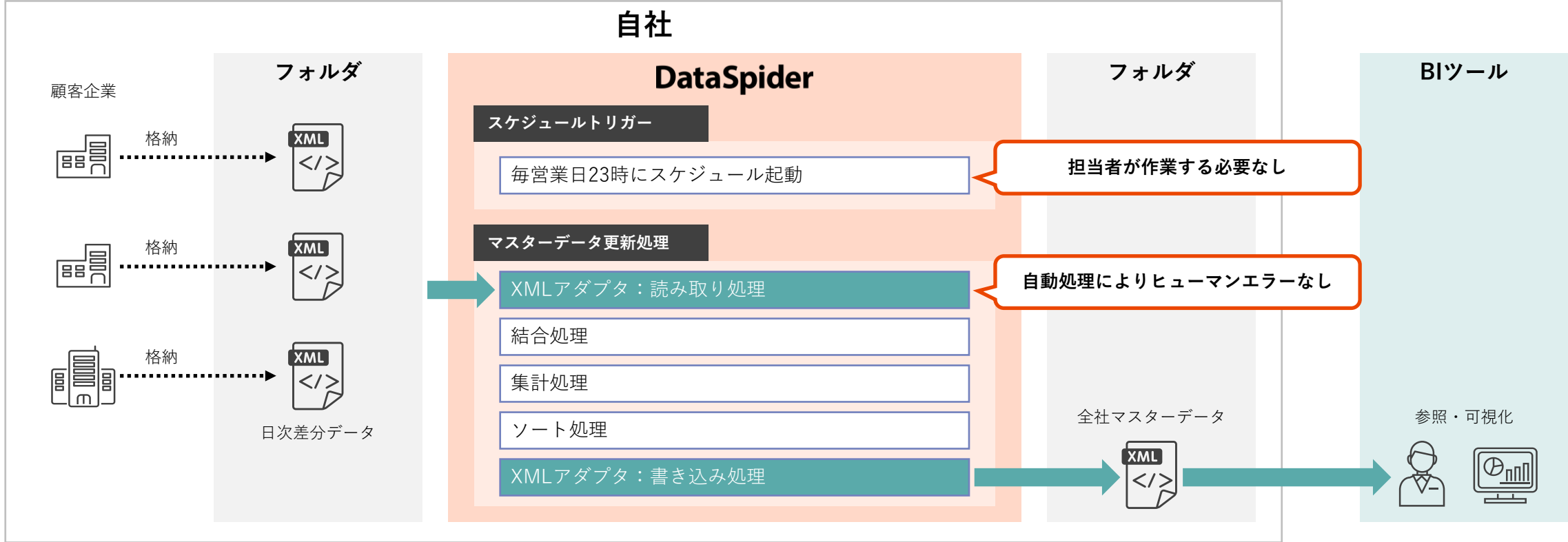


利用イメージ（解決）



XMLアダプタを利用することで作業の属人化・工数の抑制に成功し、XML形式の大量データを高速処理することが可能になりました。

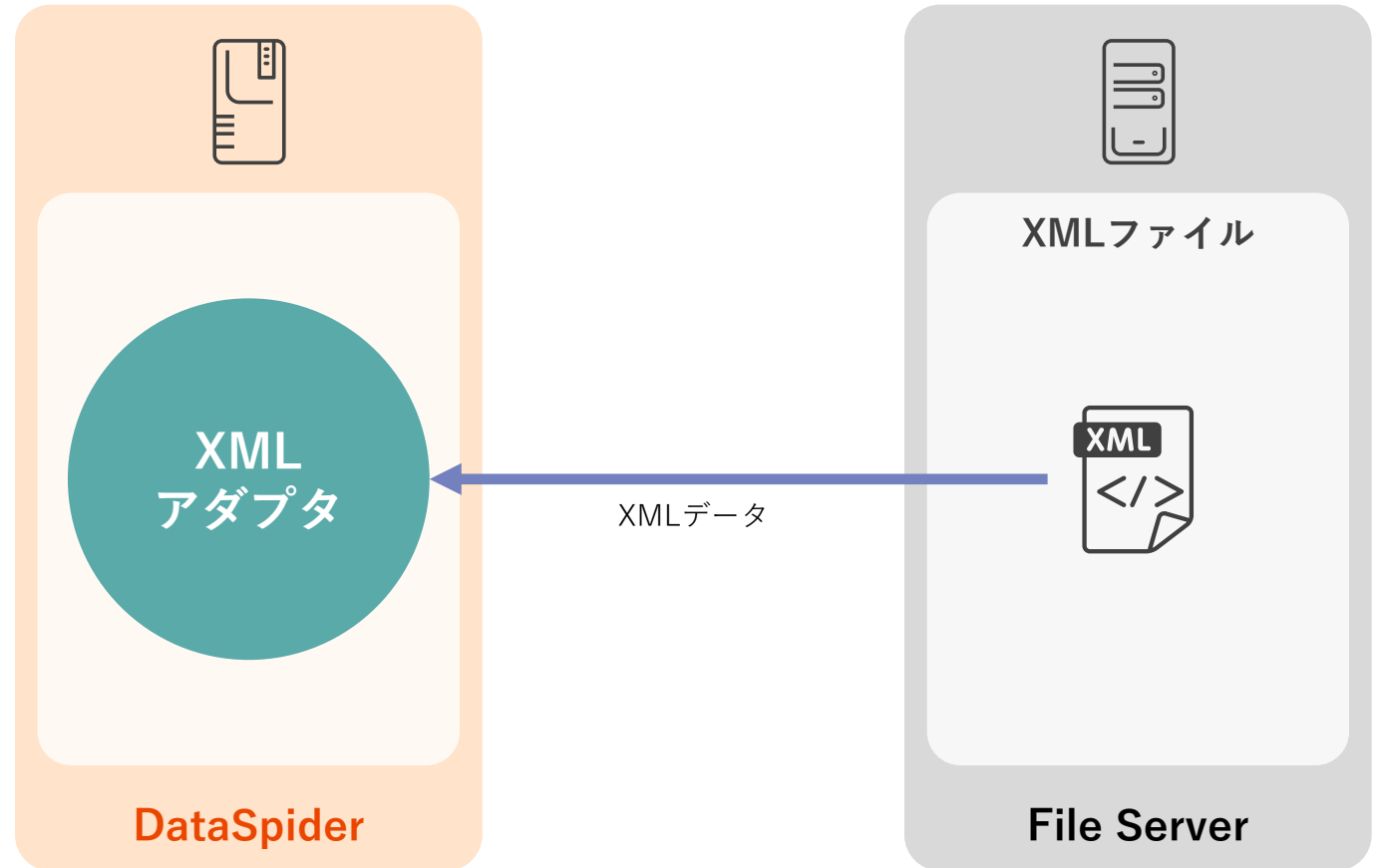
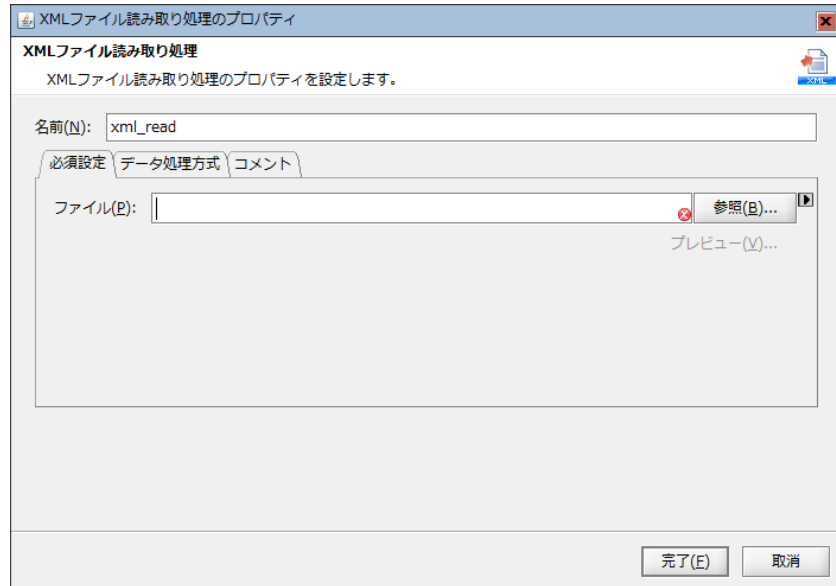
XMLアダプタを使用して自動化することにより、手作業により発生していたヒューマンエラーを撲滅。



種別	名称	概要説明
処理	XMLファイル読み取り	XMLファイルを読み取ります。
	XMLファイル書き込み	入力データをXMLファイルに書き込みます。

XMLファイル読み取り処理

XMLファイルを読み取ります。

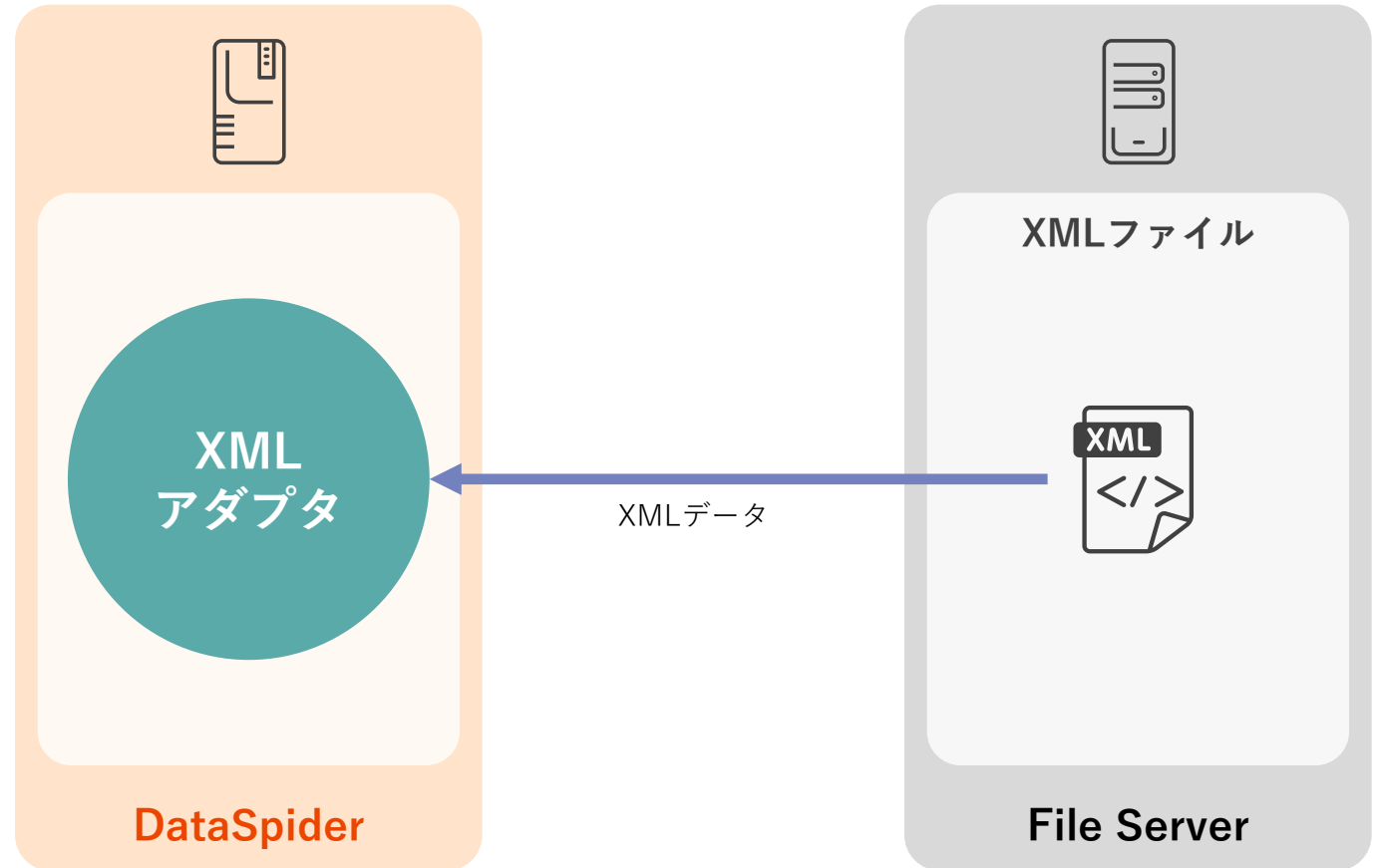
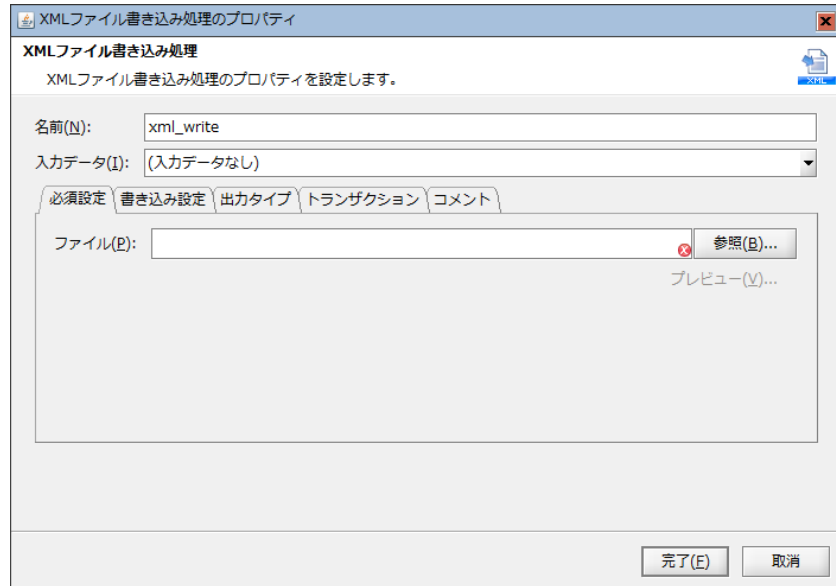


※仕様制限

- XML文書にDTDが指定されている場合でも、DTDによる検証(validation)は行われません。
- BOM(Byte Order Mark)を含んだUTF-8エンコーディングのXMLファイルの読み取りはできません。

XMLファイル書き込み処理

入力データをXMLファイルに書き込みます。



※仕様制限

- XML文書にDTDが指定されている場合でも、DTDによる検証(validation)は行われません。
- UTF-8エンコーディングを指定した場合、BOM(Byte Order Mark)の書き込みはできません。
- [エンコード]で[Windows-31J]を指定して書き込みを行った場合、DataSpider Serverの標準出力に警告が出力されます。処理自体には問題ありません。



< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。